

自治医科大学に対する改善報告書検討結果

<大学評価実施年度：2020年度>

<改善報告書検討実施年度：2024年度>

自治医科大学から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた大学全体の取り組み、4点の改善課題及び1点の是正勧告の改善状況について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

<改善に向けた大学全体の取り組み>

大学評価（認証評価）結果を受け、内部質保証に責任を負う全学内部質保証推進組織である「企画委員会」を開催し、改善方針の概要を審議・承認した。内部質保証に係る提言については、関連する会議体の役割や権限を明確にし、「部門作業部会」「全体作業部会」「中期計画推進委員会」へとボトムアップ式に点検・評価結果及び改善策を報告し、内部質保証推進組織である「企画委員会」が点検・評価結果に基づき「中期計画推進委員会」が策定した中期目標、中期計画案及び年度事業計画案を審議・承認し、各部門に対して計画を遂行するよう指示し、統括する仕組みに改めた。

その他の是正勧告、改善課題についても、新たな内部質保証システムに則り、関係する「部門作業部会」が主管となって改善に向けた取り組みを行っている。「部門作業部会」における点検・評価及びその結果を踏まえた次年度の事業計画案は、「全体作業部会」において実現可能性や達成度も含めて評価し、「中期計画推進委員会」を経て、「企画委員会」から評価結果等のフィードバックを行っている。今回の改善報告書で、成果が十分でない点についても上述の内部質保証システムを機能させることで今後の改善につなげることが期待される。

<是正勧告、改善課題の改善状況>

提言の改善状況から、改善の成果が概ね表れているといえる。

改善課題については、教育課程・学習成果における大学院での学位授与方針に示した学習成果の把握・評価の問題、学生の受け入れにおける学部の定員管理の問題に関して、今後もさらなる改善に努めることが求められる。

個別の提言への改善に向けた大学の取り組み及びそれに対する評価は、各提言に対する検討所見のとおりである。

1. 是正勧告

No.	種 別	内 容
1	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	医学研究科修士課程及び博士課程では、研究指導

自治医科大学

		計画として研究指導の方法及びスケジュールを定めていないため、これを定めあらかじめ学生に明示するよう是正されたい。
	検討所見	<p>「医学研究科部門作業部会」において、「企画委員会」からの指示を受けて、医学研究科修士課程及び博士課程の課程ごとに研究指導の方法及びスケジュールを明示した「研究指導の方法と流れ」を策定し、「医学研究科委員会幹事会」での審議・承認を経て、2021年度の「医学研究科委員会」において承認し2022年度からの『教育要項』『医学研究科パンフレット』及び大学ホームページに開示し学生等に明示している。</p> <p>以上のことから、医学研究科修士課程及び博士課程において研究指導の方法及びスケジュールを定め、あらかじめ学生に明示しており、改善が認められる。</p>

2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準2 内部質保証
	提言（全文）	<p>「企画委員会」を全学的な責任組織として実施している自己点検・評価活動は、「中長期目標・中期計画」とそれに基づく「事業計画」の進捗管理・評価を行うにとどまっており、現状、大学全体の取組みについて十分な点検・評価が実施されていない状況にある。また、「学長補佐会議」において各種検討を行っているとしているが、これは各学部・研究科等の自己点検・評価に基づいて行っている改善に向けた取組みではなく、内部質保証システムとしての仕組みが整備されているとはいえないため、「企画委員会」「学長補佐会議」及び「中期計画推進委員会」等の組織について、内部質保証体制におけるそれぞれの役割と位置付けを整理したうえで、それに即した方針や諸規程を整備し、大学全体の取組みについて適切な点検・評価及びそれに伴う改善支援を行う</p>

自治医科大学

		仕組みを整備するよう改善が必要である。
	検討所見	<p>内部質保証に関連する会議体の役割や位置づけを明確化するため、「自治医科大学内部質保証の方針」「自治医科大学中期計画推進規程」を改正した。これにより、「部門作業部会」「全体作業部会」「中期計画推進委員会」へとボトムアップ式に点検・評価結果及び改善策を報告し、内部質保証推進組織である「企画委員会」が点検・評価結果に基づき「中期計画推進委員会」が策定した中期目標、中期計画案及び年度事業計画案を審議・承認し、各部門に対して計画を遂行するよう指示し、統括する仕組みとした。</p> <p>内部質保証システムを有効に機能させるため、「中期計画推進委員会」において、大学全体の取り組みを上記の点検・評価の流れに組み入れるよう、自己点検・評価の基となる「第4期中期目標・中期計画（2020年度～2028年度）」を大幅に見直し、教育、研究、診療、管理運営等、大学全体の取り組み全般を網羅するよう検討し、2021年度の「企画委員会」において、見直し後の「中期目標・中期計画」を審議・承認した。</p> <p>上記の「中期目標・中期計画」に基づき、2022年度以降点検・評価を行っており、「部門作業部会」における点検・評価結果及びその結果を踏まえた次年度の事業計画案を「全体作業部会」において実現可能性や達成度も含めて評価し、「中期計画推進委員会」を経て、「企画委員会」から評価結果等のフィードバックを行っていることから、改善が認められる。</p>
No.	種 別	内 容
2	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	<p>医学研究科修士課程及び博士課程では、学位授与方針に示した学習成果と測定方法の関係性が不明瞭で、適切に学位授与方針に示した学習成果を測定しているとはいえないため、改善が求められる。</p>

自治医科大学

	検討所見	<p>2022年度の「医学研究科委員会」において、学位授与方針に示した学習成果を測定するための改善策として、学位授与方針のうち、「学位授与基準」についてルーブリックを活用し、学習成果を測定することを承認した。医学研究科修士課程及び博士課程の2022年度修了生から実施し、ルーブリック形式の「学位授与基準に対する自己評価」をメールで送信し、学生から回答を得ている。また、この集計結果については「医学研究科委員会幹事会」及び「医学研究科委員会」において報告し、カリキュラムや「学位授与基準」の見直しを検討することとしている。</p> <p>上記のとおり、医学研究科修士課程及び博士課程において学位授与方針に示した学習成果を測定するための取り組みを行っているものの、現状では学位授与方針に示した学習成果を多角的に評価しているとはいえないことから、引き続き改善が求められる。</p>
No.	種 別	内 容
3	基準	基準5 学生の受け入れ
	提言（全文）	収容定員に対する在籍学生数比率について、医学部医学科が1.01と高いため、学部の定員管理を徹底するよう、改善が求められる。
	検討所見	進級状況を大学全体として注視し、「医学教育センター」を中心に学習支援に取り組んでいるものの、医学部医学科の収容定員に対する在籍学生数比率が1.02と増加しているため、引き続き改善が求められる。
No.	種 別	内 容
4	基準	基準5 学生の受け入れ
	提言（全文）	収容定員に対する在籍学生数比率について、医学研究科修士課程で0.40と低いため、大学院の定員管理を徹底するよう、改善が求められる。

自治医科大学

	検討所見	医学研究科修士課程では、収容定員に対する在籍学生数比率について改善が認められる。
--	------	--

<再度報告を求める事項>

なし

<弾力的措置にかかる要件の充足状況>

弾力的措置にかかる要件	前回の評価結果 における提言	改善状況
ア) 基準 2 「内部質保証」に関し、是正勧告及び改善課題のいずれも提言されていない。	有 (改善課題)	○
イ) 基準 4 「教育課程・学習成果」に関し、是正勧告が提言されていない。	有	○
ウ) 基準 4 「教育課程・学習成果」の学習成果の測定に関しては、改善課題も付されていない。	有	×

以上